

高森幸太郎（４８文）

昭和 55 (1980) 年 3 月卒業 (第 48 期) の高森幸太郎です。学部は中国文学ですが、在学中は中国語の習得に力を入れました。「息子が東京に行ってアカになったと白い目で見られるので、帰郷しても中国語を勉強していることは絶対に他人に言わないでくれ」と親から言われている北陸地方出身の同級生がいたくらい、まだ中国に対して負のイメージが強い時代でした。私の故郷の熊本県荒尾市ではそこまで極端ではありませんでしたが、中国語を勉強するなんてちょっと変わった子だと親族から言われていました。

1972 年 9 月に日中の国交が回復し、交渉にてこずった平和友好条約がようやく締結されたのが 1978 年 8 月 12 日です。当時台湾に短期語学留学していた私は、中華民国政府と民衆があの日とても冷静に対応していたことが印象的でした。そのころから日本企業の中国ビジネス、学生中国語学習ブームが起きるのですが、ブームに乗って大学で中国語を専攻した学生が卒業するのは 1983 年以降だったため、1980 年にはまだあまり競争相手がいない状況下で中国ビジネス要員として商社に入社し、一年目から中国貿易にたずさわることができました。日本から中国へ 14 インチ白黒ブラウン管テレビやラジカセを輸出していた時代です。宝山製鉄所を作るというので、中国の技術者たちを北九州の八幡製鉄所に案内し、一ヶ月一緒に過ごしたこともありました。

商社勤務の後、ノンバンクや香港系企業での勤務を経て、2015 年から台湾の銀行の東京支店に勤務しています。2015 年時点で台湾系銀行の東京支店は 5 行、当行が 6 行目として 2016 年開業、2017 年に 2 行開業し、現在 8 行となっています。新たに 2 行が日本国政府に支店免許を申請中で、近々 10 行になる予定です。さらに 2 行が進出を検討中です。面積が九州とほぼ同じ、人口がわずか 2300 万人の台湾から何故これほど多くの銀行が日本支店を開設するのか、その主な理由は、台湾企業・個人による対日投資の増加です（日本における台湾系銀行の顧客は基本的にすべて台湾企業または台湾人です）。

台湾の企業・個人は 2010 年代半ばまでは中国・香港事業がたいへん成功し、富を香港にプールしていましたが、昨今の中国・香港情勢により、事業を縮小または撤退せざるを得なくなり、資金を台湾本国、シンガポール、日本などの金融商品や不動産に分散させています。特に日本の不動産は、価格が大幅に上昇したと問題視されていますが、東南アジア主要都市に比べればまだかなり安く、彼らの投資意欲はしばらく萎えないでしょう。

また、ここ数年日本の大手企業が事業再編の一環として一部の事業を丸ごと売却するケースがあり、台湾企業が買い手として手を挙げるケースが多くあります。モノ作りは日本人、販売は台湾人というベストの組み合わせが実現し、成功した例が多くあります。台湾人は日本企業意思決定の遅さにはいつもいらだっていますが、モノづくりの力には一目置いていて、工場のベテラン社員が

継続して勤務することを買収の条件にするほど製造現場を信頼しています。日本人は毎日 1 滴機械に油をさせと言われればその通り実行するが、台湾人は無精して一週間に一回 7 滴まとめてさす、この違いを台湾の製造現場は埋めることができないのだと台湾人は言います。

最近の話題は何とんでも TSMC の熊本進出です。当行は 2024 年福岡に営業拠点を開設し、台湾から熊本や福岡に進出してくる、TSMC と直接間接に取引がある企業と取引を始めました。台湾企業の九州進出は急激に増えており、彼らの意思決定と投資実行のスピードに、地場の行政や金融機関が振り回されている状況です。私たちが 1970 年代後半に中国語を勉強していた新竹は、台湾の静かな普通の田舎町でしたが、今では TSMC を中心とするサイエンスパークが世界的に有名な都市になりました。その後台湾各地で開発されたサイエンスパークはどれも TSMC が核になっていて、その土地は労働人口が増え、豊かになり、不動産価格が高くなっています。すなわち台湾人にとって TSMC の進出イコール都市の経済発展、不動産価格の上昇なのです。TSMC と取引がある企業なら当然、そうでなくても不動産賃貸業や飲食などのサービス業で熊本や福岡に進出すれば儲かるチャンス大いにありと考えて、これからこちらに進出してくる台湾企業、居住する台湾人が激増します。時々新聞等のメディアでこれらの動向が報道されますので、是非とも皆さん注目してみてください。

最後に、最近熊本や福岡に進出してきた台湾企業の幹部からよく聞く九州に対する評価をお伝えします。

ネガティブな点:①英語を話せる人があまりにも少なく、ビジネスを進める上で大きな障碍になっている、②一定レベルの国際学校がないに等しく、家族帯同をためらう原因になっている。

ポジティブな点:①医療レベルが高い。言葉の問題はあるものの、医療レベル自体は高く、安心して診療を受けることができる。②東京と比べて九州人は親切で、困っていると助けてくれる人が必ず現れる。



右:高森幸太郎 左:正生英彦 台湾の銀行開所式(福岡)